

月例山行報告

実施日：2016年11月6日（日）

場所：大寺山～鹿倉山（奥多摩）

参加者（敬称略）：河野、須永、加田、鈴木夫妻、市川(SL)、奥島、土田、奥村(L)

交通手段：（往路）奥多摩駅より西東京バス乗車、深山橋 BS 下車

（復路）小菅の湯よりバス乗車、上野原駅、又は奥多摩駅へ

行程：8:25 奥多摩駅集合～8:35 丹波行きバス乗車～9:10 深山橋 BS 下車～9:30 登山口～10:49 大寺山
11:03～12:40 鹿倉山（昼食）13:17～14:16 大丹波峠 14:25～15:06 川久保 15:06～15:45 小菅の湯
（休憩含め6時間35分）

短観

今年の紅葉ハイキング第一弾は好天に恵まれ、絶好のハイキング日和となりました。目指すのは奥多摩の大寺山から鹿倉山への縦走コース。この山は丹波川と小菅川に挟まれ、北と南にはそれぞれ人気の高い石尾根と三頭山があって、その間にポツンと取り残されたような感がある山域です。ぶっちゃけて言えば、不人気。ポジティブに考えれば人が少なく静かな山歩きが楽しめます。いかにも紅葉見物にピッタリではないですか(笑)。奥多摩駅に首尾よく全員集合…とはいきませんでした。奥島さんの脚ならば1時間遅れでも楽勝で追いついてくるはずですし、分岐無し一本道なので何の心配も要りません。

非常にわかりにくい登山口から大寺山までは430m/1.8Km、平均斜度24度の急斜面からスタートです。交通が不便な小菅に下山する今回はスケジュールキープが最優先課題でしたので、しんがり市川SLにお願いし、ペースを作る為に先頭を歩かせて頂きました。黙々と急坂を登って陽の当たる尾根に出ると、所々に燃えるように紅葉したモミジが現れます。今年は紅葉の進みが遅いと聞いていたので空振りも覚悟していましたが、うれしい誤算でした！案の定あつという間に追いついてきた超人・奥島さんも合流して仏舎利塔の建つ大寺山に到着。山頂らしからぬベンチ完備の広場で大休止としました。

鹿倉山までは幾つかのピークがありますが、巻道が付いていたのでゆるゆると標高を上げていく感じ。植林と自然林が交互にあらわれてきます。モミジはそこそこ見えるのですが、まだ紅葉は進んでおらず黄葉が綺麗です。休憩したくなるような雰囲気のある場所も多く、皆さんの評価も上々です。鹿倉山に近づくとか何か白樺が数本生えている伐採地があり、鷹ノ巣山から雲取山までずっと石尾根が見渡せます。またまた何か林道が現れ、その林道の最高点の傍らに鹿倉山の山頂がありました。白樺が一本生えている鹿倉山山頂は、山と高原地図によると南西が開けているはずでしたが見晴は無く、こじんまりとして地味です。ここまで唯一人のハイカーとも会わず、貸切りの山頂でお昼にしました。

鹿倉山山頂付近はカラマツの植林です。当日は水蒸気が多かったようで抜けるような青空ではありませんでしたが、それでもカラマツの黄色が青空に映えて綺麗です！大丹波峠まではほぼ林道沿いに、たまにショートカットをしながら下りて行きます。若干ビハインドだった行程も大丹波峠でオンタイムに復帰しました。但し…上野原丹波山線に出てからはずっと舗装路の歩きとなり、これは誤算でした。小菅の湯まで時間的には1時間強でしたが、随分長く感じましたね。山が存外に良かったので少しスポイルされた気分…。小菅の湯も坂の上で最後に随分登らされてしまいました。河野さんは早いバスでご帰宅。残りのメンバーは温泉に浸かって軽く打ち上げの後家路につきました。奥多摩駅行きのバスの中では爆睡。少し元気を取り戻した電車の中では、山談義ならぬスキー談義に花が咲いていたのが意外でした。

素敵な秋の一日になりましたね。

文責 奥村